

紙容器リサイクル事業啓発 イベント報告

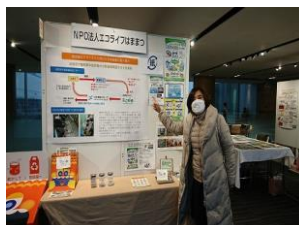
整理番号: 20220119

イベント名	浜松市消費生活展
-------	----------

実施内容	
活動日時	2022年1月19日(水)～1月24日(月)午前10時～午後7時 最終日午後5時終了
活動場所	遠鉄百貨店 イ・コ・イスクエア6階 ギャラリーロゼ
活動者名	高根
詳細	紙容器リサイクル事業紹介

事業の様子と成果	<p>配布物 紙容器回収用手提げ袋17枚、案内チラシ17枚 同事業は、西区での広報活動が主体となっている。今回、中区のイベントに参加することで広く広報ができればと考えて参加した。(本事業の実証実験は22年度継続が決まったことも広報する必要もあったため。) 事業スキームパネルと回収箱は、目を引いていた。 また、12月に行った破碎・溶解実験のサンプル(ポリエチレン・リサイクルパルプ)の展示を行った。 <来場者の声> ・回収拠点が少ない。協働センター等で回収して欲しい。協力が難しい。 ・元自治会役員>各自治会ごとに説明をして資源物回収に追加等を行う方法はどうか？ 環境部分庁舎には役員の時には行くので、その時に出してもらおう方法もある。役員を口説くのが大変だとは思ふ。 ・中区 市民協働センターでは、回収箱はないが紙袋があり、紙容器を入れることが出来る。来場者情報あり ⇒ センターに確認したところ職員用を回収している。(1/31 約1.95kg回収確認)SDGs紹介でポスター等を掲示。内部で検討して回収箱は置けないが持参した市民がいれば受付することは可能と判断した。引き続き回収を行うことになった。 ・対象商品が年齢に関係なく取り組めることを評価する。 ・紙容器は、雑がみ回収に出していた。何故、出してはいけないのかが分からない。ごみに関する説明が十分に出来ていないのではないかな？ ・牛乳パックとして回収出来ないのかな？どう違うのかが分かり難い。 ・日本製紙(株)が浜松でこのような事業を行っていることを広く広報する必要があると思う。 ・環境マークの意味が分からない。牛乳パックとの違いが理解出来ない。</p> <p>回収事業に対して反対する意見等は、なかった。 実証実験2年目を迎えるに対して、更に広く広報を行う。</p>
----------	--

記録添付



鈴木めぐみ市議視察

静岡市消費者団体視察